



編集・発行 津市防火協会
 津市久居明神町2276番地
 津市消防本部庁舎内
 電話・FAX 059-256-4222

インターネット申込み、スタート!!

令和3年度、3回目の防火管理者講習



▲会場でネット申請者のメールを確認する担当者（メッセウイング・みえ）



▲消防計画の作成について講義を受ける受講者



▲屋内消火栓の訓練に取り組む受講者

ネット申請40人・窓口申請30人

11月15・16日に甲種・乙種防火管理講習を開催し、計69人が受講しました。

コロナ禍もあり、受講申請時の混雑緩和などを考慮し、今回初めて、インターネットによる受講申請を40人枠で実施しました。ネット申請と窓口申請ともに、スムーズに受講申請の処理を行うことができました。

講習ではマスク着用や、受付入口での手指消毒、体表温度測定、加えて高性能空気清浄機2台を設置するなど、感染対策資機材の充実も図りました。消火器・屋内消火栓の実技体験は、会場内で数組が使い捨て手



◀会場に設置した高性能空気清浄機

袋をつけての訓練となりました。受講者の内、当協会員11人には、1人につき甲・乙種2,500円、計27,500円を助成しました。

また11月26日には自衛消防業務再講習を消防本部で開催し、5人が受講し、フェイスシールドを着けて図上訓練に取り組んでいただきました。

この再講習は、自衛消防組織の設置が義務付けられた大規模施設の担当者を対象に行うものです。



◀11月26日の自衛消防業務再講習（消防本部）

2年ぶりに防火救命研修を開催



▲心臓マッサージに取り組む参加者（消防本部）

午前・午後の部、合わせて10人

コロナ禍においても火災予防や応急手当の普及は必要であることから、11月17日に津市消防本部で防火救命研修を開催しました。昨年は当協会ホームページのWeb研修であったことから、実際の研修は2年ぶりとなります。今回の研修は、午前・午後の部の2回に分け各5人、計10人募集の案内をしましたが、多数の応募をいただき、やむなく抽選で参加者を決定しました。

研修では、初めに「コロナ禍の火災予防」という津市消防本部のYouTube映像を視聴、その後普通救命講習を行いました。感染防止のため、参加者ごとに1体の訓練用人形・AEDを用い、人工呼吸や心臓マッサージの実技、AEDの取り扱いに何回も取り組んでいただくなど、中身の濃い研修になりました。参加者は「実技中心で、詳しく覚えることができ、いざという時に対応したい。」と述べていました。

研修の最後には、参加者の記念品としてカプセル



▲参加者に記念品として贈呈されたカプセルトイのミニチュアAED



▲オリジナルのカプセルトイを回す参加者

トイのミニチュアAEDが贈られ、皆さんに喜んでいただきました。

来年度は、なるべく多くの方が受講できるよう、日程・回数を検討して実施したいと思います。

危険物予備講習会を開催

10月7日に危険物取扱者（乙種4類）の試験のための予備講習会を県総合文化センターで開催し、15人が受講しました。1か月後の試験に備え、法令や例題に取り組んでいました。



▲10月7日に開催した危険物取扱者試験予備講習会（県総合文化センター）

危険物取扱者試験、津で高い合格率

危険物取扱者の資格試験は、（一財）消防試験研究センターが所管し、県内10会場で年2回ほど行っています。

同センターによる乙種4類の試験状況を見ると、その合格率は例年30%台ですが、津会場では昨年6月は190人受験して101人合格（合格率53%）、11月は130人受験して58人合格（合格率45%）でした。

今後も津地区の高い合格率に貢献できるように、当協会の予備講習会もブラッシュアップしていきます。

令和4年度前期

危険物取扱者試験予備講習会 受講申込みはインターネットで

5月11日(水) 8:45~16:45(定員50人程度)

申込期間:4/18(月)~4/22(金)

三重県総合文化センター

生涯学習センター4階 中研修室

▶受講料:津市防火協会会員4,000円
(一般7,000円)

※詳しくは、津市防火協会ホームページでご確認ください。

大型倉庫や複合ビルの火災を受け

関係事業所で立入検査を実施

昨年11月29日、大阪市此花区にある延べ面積50,000㎡を超える物流会社の大規模倉庫で火災が発生し、約38,000㎡が焼損、鎮火まで5日以上を費やしました。

また12月17日には、大阪市北区の繁華街で8階建て複合用途ビルの4階にあるクリニックから出火し、焼損面積は25㎡程度と少なかったにもかかわらず、死者26人、負傷者2人を出す火災が発生しました。

これらの火災を受けて、津市消防本部では同様の防火対象物に対し緊急立入検査を実施し、消防用設備等の維持管理や避難経路の適正な管理について防火管理者などへ指導を行いました。

大量の可燃物が収容された倉庫は延焼拡大しやすいため、平素からの火気の管理と、迅速で適切な初期消火の実施体制の確保が重要になります。

また、ビルを含めすべての対象物では、廊下や階段、防火戸付近には物品を置かないなど、避難経路を適正に管理することが大切です。

▶大型倉庫の立入検査で、屋内消火栓を調べる消防職員



◀関係者の案内で倉庫内を回る消防職員

それぞれの事業所において、日頃の防火管理体制や消防用設備等の維持管理状況について、今一度確認しておきましょう。

アスト津に火災予防運動懸垂幕など

当防火協会ではこのほど、春の火災予防運動（3月1日～7日）に伴い、大型の懸垂幕を製作し、2月25日から3月7日まで津駅前にあるアスト津に掲出しました。

長さは15メートルあり、津駅ホームの乗客に火災予防をアピールしました。

また、春・秋の火災予防運動を前に、会員事業所には防火ポスターを配付するほか、運動の1か月前から三重交通の路線バス10台に車外広告幕を掲出するなどしました。



防火ポスター⑤とバス車外広告幕⑥

令和4年度(上半期)

防火管理等講習会、甲種新規・乙種等実施予定 受講申込みはインターネット・窓口併用

- ①甲種防火管理再講習・防災管理再講習(定員50人程度)
7月11日(月) 13:10～16:30 申込期間:6/20(月)～6/24(金) 市外6/23(木)～
▶受講料:津市防火協会会員1,000円(一般3,000円)
- ②甲種・乙種防火管理講習(乙種は12日のみ)(定員90人程度)
7月12日(火) 9:30～16:00(甲種～15:55)
7月13日(水) 9:30～15:35 申込期間:6/20(月)～6/24(金) 市外6/23(木)～
- ③甲種・乙種防火管理講習(乙種は1日のみ)(定員90人程度)
8月1日(月) 9:30～16:00(甲種～15:55)
8月2日(火) 9:30～15:35 申込期間:7/19(火)～7/22(金) 市外7/21(木)～
- ④甲種・乙種防火管理講習(乙種は3日のみ)(定員90人程度)
8月3日(水) 9:30～16:00(甲種～15:55)
8月4日(木) 9:30～15:35 申込期間:7/19(火)～7/22(金) 市外7/21(木)～
★会場:①②③④ともに、メッセウイング・みえ2階 大研修室
▶受講料:②③④甲・乙種ともに、当協会会員1,500円(一般4,000円)
- ⑤防災管理新規講習(定員20人程度)
8月5日(金) 9:25～15:30 申込期間:7/19(火)～7/22(金) 市外7/21(木)～
★会場:津市消防本部3階 研修室
▶受講料:当協会会員2,000円(一般4,000円)

※詳しくは、津市ホームページでご確認ください。
新型コロナウイルス感染症及び自然災害等の影響から、日程を変更・中止することがありますので、ご了承ください。



▲掲出した火災予防運動懸垂幕



新型コロナ第6波はいつ収束するのか？

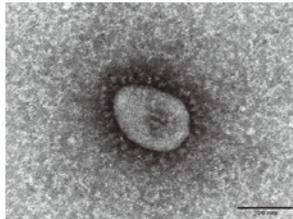
2か月で感染者330万人増、死者は過去最多

※本記事の内容は、報道、行政等のホームページを参照としたもののほか、知り得た事実をもとに編集し、数値は2月28日現在のものです。

新たなオミクロン株で感染者激増

昨年11月末、南アフリカで新たなオミクロン株が確認されると、世界に急激に広がり、特にアメリカやヨーロッパで急拡大しました。年明けの1月上旬にはそれらの国で、1日の感染者数が過去最多となりましたが、1月中には多くの国が減少しています。2月9日、世界の感染者累計は4億人を超え、約1か月で1億人増加しています。

日本ではオミクロン株が初めて確認された11月30日から外国人の入国を原則停止したものの、入国者から感染が確認され、その濃厚接触者と、米軍基地のある沖縄などで感染拡大しました。12月後半には経路不明の市中感染が全国で現れ始め、年明けから急増して第6波に突入しました。1月9日から沖縄、広島、山口の3県にまん延防止等重点措置が適用され、1月21日から首都圏、東海3県など、さらに措置対象は拡大され36都道府県になりました。2月5日には全国の1日感染者数が過去最多の105,614人を記録しましたが、以降も減少せず、まん延防止は31都道府県で3月6日まで延長されています。



▲オミクロン系統の電子顕微鏡写真（国立感染症研究所提供）

オミクロン株の感染力はデルタ株の3倍から5倍と強く、重症化リスクは少ないとされていたものの、高齢者などに感染が広がり、持病が悪化して重症となり、そして死者の増加につながっています。都市部では医療が逼迫し、さらにコロナ疑い以外の急患もあって、救急搬送が困難な事態も起こっています。

濃厚接触者も甚大な数になり、医療従事者が勤務できないなど社会機能にも支障が出ました。

全国の感染者累計は500万人を超えています。1・2月だけで330万人が感染しています。全国の重症者は2月26日に1,507人(過去最多は昨年9月4日の2,223人)となり、死者は2月22日に322人と過去最多を記録しました。

子どもの感染、自宅療養者も最多に

今回の第6波では、当初は第5波(昨年7月～9月)と同じように20代の感染者が多かったものの、徐々に各年代に広がり、ワクチン未接種の子どもの感染が増え、全国で休校・休園などが相次ぎました。

また第6波では、コロナに感染した自宅療養者は2月

16日に57万人余と過去最多になりました。第5波のピークの約4倍になっています。往診等での点滴や飲み薬による治療も行なわれていますが、自宅などで体調が急に悪化し、亡くなった人は1月中に151人に上りました。

三重県に3回目の“まん防止等重点措置”

三重県でオミクロン株が初確認されたのは12月29日で、1月6日から増加をはじめ1月1日に県内初の市中感染が分かり、翌12日に県独自の感染拡大阻止宣言が発令されました。1月21日からは3回目のまん延防止が適用され、津市、四日市市など24市町(1月31日から全域)に飲食店等の時短営業と酒類を提供しないなどが要請されました。2月3日には感染者1,013人と過去最多となりました。まん延防止は3月6日まで延長されました。

津市では1月12日以降、感染者が急増し、2月16日に203人と過去最多となりました。

ワクチン3回目接種、開始するも…

2月28日公表の全国のワクチン2回目接種率は79.1%、3回目19.3%となり、三重県では2回目79.7%、3回目18.3%となっており、3回目の接種は海外に比べ大きく遅れています。専門家は、特に高齢者や基礎疾患のある人には3回目呼びかけています。

3回目の接種は、全国的には12月1日から医療従事者に、1月初旬から高齢者に対し始まりました。

津市での3回目接種は、接種券の発送も前倒しされ、高齢者を中心に2月以降に開始されました。

5歳から11歳の子供へのワクチン接種も推奨されていましたが、当面は保護者の努力義務にしないと決められました。

しばらくはマスクの着用、消毒は日常に

欧米の一部では、多くの感染者が出ている状況にもかかわらず、マスクなどのコロナの規制を撤廃し、コロナとの共生に向かっています。

日本ではこの2年間ずっと、人と接する場面に限らず日常的に、ほとんどの人がマスクを着用しています。

現在の感染状況を考えれば、しばらくはマスクの着用は必要だといえます。国が責任を持って安全宣言をして、マスク着用の義務を撤廃する日が早く来てほしいものです。それでも、手洗い、消毒・換気は日常の生活様式として定着するでしょう。